

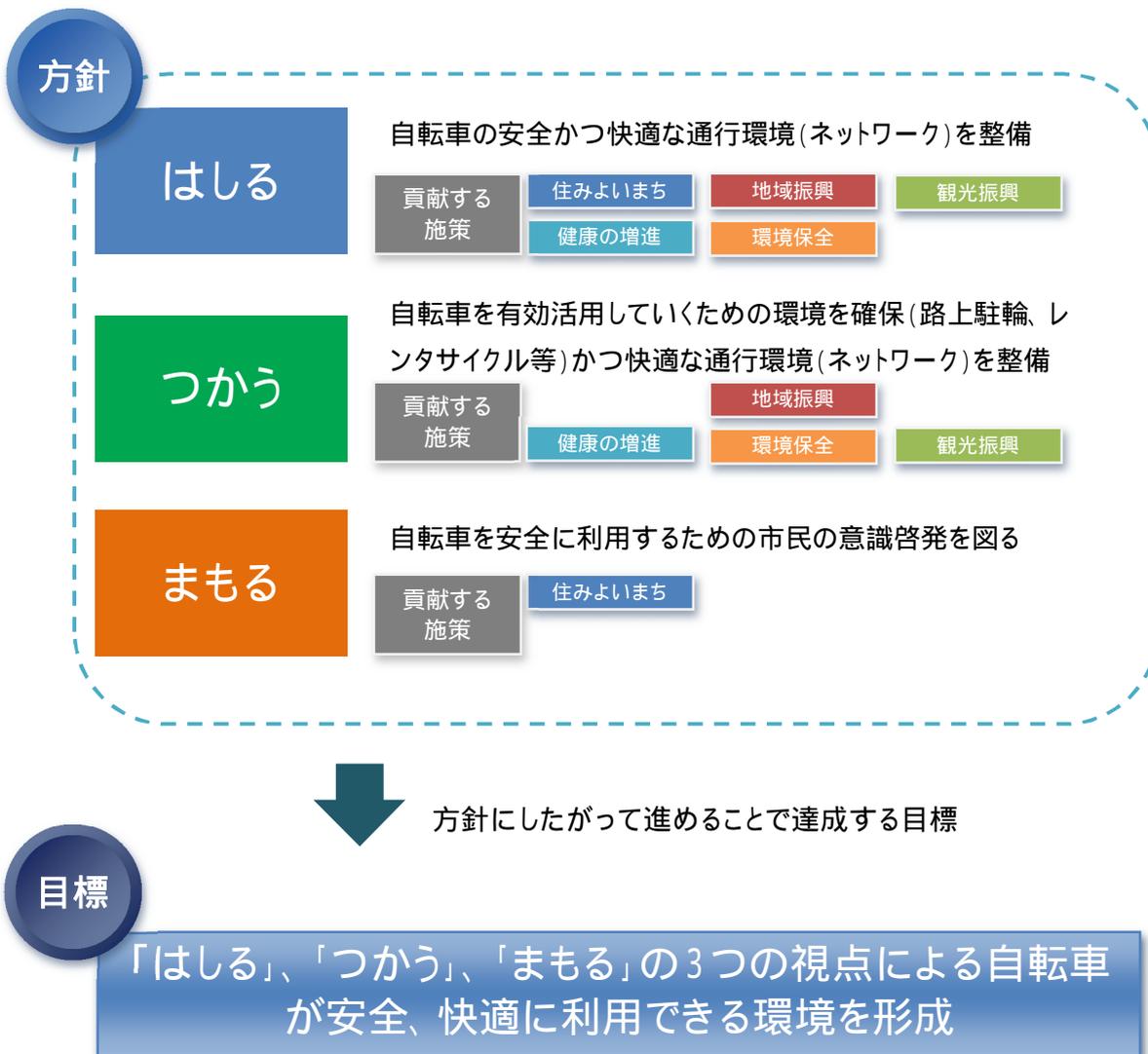
3 整備方針及び目標の検討

自転車通行空間ネットワークの整備方針と目標を検討する。

1. 自転車利用環境形成の方向

問題及び課題を踏まえ、自転車通行空間ネットワークの整備を含めた、自転車利用環境形成の方向性について、以下のように整理する。

自転車の通行空間及び利用環境の整備や安全利用の促進により、自転車活用を推進するため、自転車通行空間を確保して歩行者等の安全性の向上を「はしる」、健康づくり、観光交流拡大、環境負担の低減などを「つかう」、ルール遵守・マナー向上を「まもる」という、3つの視点に着目し、安全性、快適性の向上を目指し、方針と目標を定める。



自転車利用環境形成の課題で整理した項目と、方針との関係は下表の通りである。

表 3 1 自転車利用環境形成の課題と方針との対応

課題		方針
住みよいまちの促進		
	通勤・通学利用の自転車が安全に利用できる自転車通行環境の確保	はしる
	自転車を安全に使うためのルール、マナー遵守への取組の必要性	まもる
地域振興の促進		
	中心市街地の来訪者が安全に利用できる通行環境の確保	はしる
	駐輪場だけでなく、道路上などに気軽に駐輪できる環境の確保	つかう
	買物時の自転車利用のメリットの創出	つかう
観光振興の促進		
	観光客等が安全かつ快適に利用できるサイクリング環境の確保	はしる
	レンタサイクルを様々な場所で利用できる環境の確保	つかう
	快適な移動を支援する環境の確保	つかう
健康の増進		
	市民が安全に利用できる通行環境の確保	はしる
	自転車利用の健康面での有用性の明確化	つかう
環境保全の促進		
	市民が安全に利用できる通行環境の確保	はしる
	バス、鉄道等の公共交通機関と連携利用できる環境の確保	つかう

2. 自転車通行空間ネットワーク整備計画の基本方針と目標

上位・関連計画におけるビジョンを踏まえ、自転車通行空間ネットワーク整備計画の基本理念を以下のように定める。

自転車通行空間ネットワーク整備の基本理念

健康で環境にやさしく 安全、快適な自転車利用の実現

本市では、市民生活の基本となる「健康」「教育」「環境」「危機管理」の頭文字をとった「4K施策」を重点的に取り組んでいる。自転車利用が活発になることにより、市民の健康が向上するとともに、自動車からの交通手段転換により、環境負荷の少ない生活や業務様式が実現する。また、自転車が増加することで、交通事故の危険性を下げるためにも安全性の向上が求められる。自転車通行空間の整備はこれらを目指すものとして、上記を標語とする。

自転車利用環境形成に向けた課題、および上記で整理した自転車利用環境形成の方向を踏まえ、各課題に沿って基本方針と目標を設定する。

基本方針 安全な自転車通行空間の整備

市内の自転車利用の中心となっている通学利用において、安全かつ快適に自転車を利用できるよう、自転車通行空間を整備する。合わせて、通学のみならず市内の通勤においても自転車通勤を推進することで、通いやすい環境を整備し住みよいまちの促進を図るためにも、その安全かつ快適な利用をさせる自転車通行空間を整備する。

目標 安全な自転車通勤、通学の実現による住みよいまちの促進

基本方針 中心市街地の活性化に寄与する自転車通行空間の整備

中心市街地へ自転車で安全かつ快適に訪れやすくするとともに、中心市街地内を自転車で回遊しやすくすることで、滞在時間を増やし、にぎわいを高めることができるよう、アクセス道路や中心市街地内の道路に自転車通行空間を整備する。

目標 中心市街地への自転車での来街、回遊促進

基本方針 観光施設や交通結節点を繋ぐ自転車通行空間の整備

本市では観光拠点が点在しており、特に東海道では沿道に多数の名所、旧跡や観光拠点が点在していることから、これらの拠点を周遊するにあたり自転車は有効な交通手段である。また、藤枝駅より市内の観光資源を安全に周遊できる自転車通行空間を整備することで、街道文化により交流してきた東海道の往来を現代につなげる。

目標 自転車を使った市内の観光施設の回遊促進

基本方針 公共公益施設の利用促進に資する自転車通行空間の整備

基本方針の から に該当する道路に加え、レクリエーションの場となる運動施設やコミュニティ施設など市内の拠点施設へ行く道路についても自転車通行空間を整備することで、健康づくりのために、市民が自転車を使用したくなる安全かつ快適な自転車通行環境を確保し、外出時に自転車を活用してもらうようにする。

目標 運動施設やコミュニティ施設への自転車での利用者の増加

基本方針 自動車から自転車への転換を促す自転車通行空間の整備

環境保全のために、市民が自転車を使用したくなる安全かつ快適な自転車通行環境を整備する。特に、環境基本計画で位置づけられている自転車利用促進によるライフスタイルの転換を自転車で実践することで、環境負担低減を目指すためにも自転車通行空間を整備する。

目標 ライフスタイルの転換による環境負担低減の促進